

第2回 新規受験勉強会選択問題 宿題（平成31年4月20日）

1、法燈継承の定義 間違っているものの番号に○で囲め

- ①「法燈」は、一つには真理（久遠ながるるいのち）そのものを意味します。
- ②「法燈」は、法燈継承の位（総裁の位置）を意味します。
- ③「法燈」（真理）は有形にして無限なるものである。
- ④生命の実相というものは、今までは文字言語のよく説くところではない、^{言詮}言詮不及、不立文字であると言われていた。それを文字を立て、文章を立て言葉の力によって、生命の実相を悟らせるようにさせたところが生長の家の独特なところであるのです。

2、法燈継承の必要性 間違っているものの番号に○で囲め

- ①時代の変化に合わせて、教義のどこを変えるべきか、また、変えてはならないところはどこかを明確に判断しうる中心指導者が必要である。
- ②真理を伝える人自身の悟りが正しく深く、かつ表現力が優れていなければ、最高の指導者になれない。
- ③みずから宗教改革しながら進んで行く宗教であってこそ永遠に生きることが出来る。
- ④時代の変化に変わりなく、文化・文明が変わってもそれに適した内容に説法を変化させる必要はありません。

3、法燈継承の理想 2つ間違っているものの番号に○で囲め

- ①分派・分裂を防ぐため、先師から弟子1名対して「面授」が行われ「師と弟子とが対面して」師がそのことを認可しなければならない。弟子が勝手に自分で決める問題ではない。
- ②「面授」によって継承すべきものは、教えの神髄である不立文字（言葉では説き尽くせない大真理）の部分であり、「谷口雅春尊師のお説きになった一言一句をその通り繰り返せよ」と云うことではない。
- ③教えの神髄である不立文字は、修養の達した信徒達が継承する。
- ④「法燈継承」には「私的」な面と「公的」な面がある。
- ⑤「私的」なのは、「面授」であり、あまり重要ではない。

4、「法燈継承」はいつ行われた・中心帰一について 間違っているものの番号に○で囲め

- ①谷口清超先生総裁襲任は、昭和60年11月22日である。
- ②谷口雅宣先生副総裁襲任・法燈継承は、平成2年11月21日である。
- ③偉大な指導者を頂く生長の家では、谷口雅宣先生の発した言葉のみに中心帰一し、代が変わろうともこのことは永久に変わらない。
- ④人類光明化運動指針 第九条は、生長の家の大神一総裁・副総裁一御教え。この三つを結び貫く神意の展開が、光明化運動の不動の中心である事を、生長の家人たるものは一瞬たりとも忘れてはならない。

5、個人指導の心構え 2つ間違っているものの番号を○で囲め

- ①迷ってる相手を神の子なる私が指導する。
- ②自分が指導するのではなく、無我になって相手の実相を拝むときに、自分を通して神のお言葉が流れるのが本当に個人指導の心構えである。
- ③病苦の訴えを親切に聞く
- ④現象と実相との区別は、根本的に知らなくてもよい。

6、個人指導の原理と実際 2つ間違っているものの番号を○で囲め

- ①根本的に治してあげなければならないのは魂の問題、心の問題であります。魂が救われ、大自在の境に達することが個人指導の目的である。
- ②生長の家は、病気を治すところである。「病気はない」という哲学を話している。
- ③病人に治りたい心を起こさせる。
- ④相手の人生観を根本的に変えさせることは、出来ない。

3、治病 2つ間違っているものの番号を○で囲め

- ①病気とは、あるように見えるけれども見えているにすぎない。
- ②生命の実相は、自性円満という自覚を心の底まで自覚すればメタフィジカルヒーリングがはたらく。
- ③人間は肉体物質であるが、神癒はおきる
- ④神想観は、自分でしなければ「神の子」にはなれない。

4、教育 1つ間違っているものの番号を○で囲め

- ①自ら神想観を実修し、自分が神の子であると自覚し、子供も神の子であると信じ切ると良い
- ②親が観ずるとおりに現れる（三界は唯心の所現）
- ③「しばりの解放と神性の引き出し」は、バランスよく使うとよい。
- ④「愛されたい・ほめられたい・認められたい・自由でいたい・役に立ちたい」は、教育する上での重要な5つの願いである。

第2回 新規受験勉強会選択問題 宿題解答 (平成31年4月20日)

1、法燈継承の定義 間違っているものの番号に○で囲め

- ①「法燈」は、一つには真理(久遠ながるるいのち)そのものを意味します。
- ②「法燈」は、法燈継承の位(総裁の位置)を意味します。
- ③「法燈」(真理)は有形にして無限なるものである。
- ④生命の実相というものは、今までは文字言語のよく説くところではない、^{ごんせんかきゅう}言詮不及、不立文字であると言われていた。それを文字を立て、文章を立て言葉の力によって、生命の実相を悟らせるようにさせたところが生長の家の独特なところであるのです。

2、法燈継承の必要性 間違っているものの番号に○で囲め

- ①時代の変化に合わせて、教義のどこを変えるべきか、また、変えてはならないところはどこかを明確に判断しうる中心指導者が必要である。
- ②真理を伝える人自身の悟りが正しく深く、かつ表現力が優れていなければ、最高の指導者になれない。
- ③みずから宗教改革しながら進んで行く宗教であってこそ永遠に生きることが出来る。
- ④時代の変化に変わりなく、文化・文明が変わってもそれに適した内容に説法を変化させる必要はありません。

3、法燈継承の理想 2つ間違っているものの番号に○で囲め

- ①分派・分裂を防ぐため、先師から弟子1名対して「面授」が行われ「師と弟子とが対面して」師がそのことを認可しなければならない。弟子が勝手に自分で決める問題ではない。
- ②「面授」によって継承すべきものは、教えの神髄である不立文字(言葉では説き尽くせない大真理)の部分であり、「谷口雅春尊師のお説きになった一言一句をその通り繰り返せよ」と云うことではない。
- ③教えの神髄である不立文字は、修養の達した信徒達が継承する。
- ④「法燈継承」には「私的」な面と「公的」な面がある。
- ⑤「私的」なのは、「面授」であり、あまり重要ではない。

4、「法燈継承」はいつ行われた・中心帰一について 間違っているものの番号に○で囲め

- ①谷口清超先生総裁襲任は、昭和60年11月22日である。
- ②谷口雅宣先生副総裁襲任・法燈継承は、平成2年11月21日である。
- ③偉大な指導者を頂く生長の家では、谷口雅宣先生の発した言葉のみに中心帰一し、代がかわろうともこのことは永久に変わらない。
- ④人類光明化運動指針 第九条は、生長の家の大神—総裁・副総裁—御教え。この三つを結び貫く神意の展開が、光明化運動の不動の中心である事を、生長の家人たるものは一瞬たりとも忘れてはならない。

5、個人指導の心構え 2つ間違っているものの番号を○で囲め

- ①迷ってる相手を神の子なる私が指導する。
- ②自分が指導するのではなく、無我になって相手の実相を拝むときに、自分を通して神のお言葉が流れるのが本当に個人指導の心構えである。
- ③病苦の訴えを親切に聞く
- ④現象と実相との区別は、根本的に知らなくてもよい。

6、個人指導の原理と実際 2つ間違っているものの番号を○で囲め

- ①根本的に治してあげなければならないのは魂の問題、心の問題であります。魂が救われ、大自在の境に達することが個人指導の目的である。
- ②生長の家は、病気を治すところである。「病気はない」という哲学を話している。
- ③病人に治りたい心を起こさせる。
- ④相手の人生観を根本的に変えさせることは、出来ない。

3、治病 2つ間違っているものの番号を○で囲め

- ①病気とは、あるように見えるけれども見えているにすぎない。
- ②生命の実相は、自性円満という自覚を心の底まで自覚すればメタフィジカルヒーリングがはたらく。
- ③人間は肉体物質であるが、神癒はおきる
- ④神想観は、自分でしなければ「神の子」にはなれない。

4、教育 1つ間違っているものの番号を○で囲め

- ①自ら神想観を実修し、自分が神の子であると自覚し、子供も神の子であると信じ切ると良い
- ②親が観ずるとおりに現れる（三界は唯心の所現）
- ③「しばりの解放と神性の引き出し」は、バランスよく使うとよい。
- ④「愛されたい・ほめられたい・認められたい・自由でいたい・役に立ちたい」は、教育する上での重要な5つの願いである。